

平成22年3月第1回幸田町議会定例会 報告

議会報告 3月定例会

平成22年3月1日：開会 ~ 3月23日：閉会

単行議案5件、補正予算関係8件、当初予算関係10件、追加議案2件、の計25件が上程され、原案どおり可決した。また、陳情3件を審議し、1件を採択、2件を不採択した。

3月定例会で新年度当初予算案を審議し、可決

「簡素で健全性を確保しつつ未来につなぐ総合予算」

一般会計 実質1.5%減

平成22年度の一般会計は、総額126億4000万円で、21年度と比較し3.6億円増(+2.9%)
新政権の「子ども手当」支給事業の関連で9億110万円を計上、実質1.5%減となっている。

歳入

- ・町税全体で前年比、7.1億円減(-9.3%)の69億5100万円
特に、法人町民税は、経済危機による、主要企業の不振の影響により8600万円まで落ち込む見込み・・・(平成20年度の20億円から見ると1/20以下の低い水準)
個人町民税も4.4億円減(-19.6%)の18億800万円となっている。

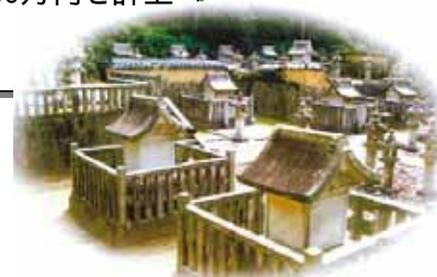


歳出

- ・平成24年3月の開業を目指す、JR新駅建設には7億4400万円のほか、駅自由通路 2億8500万円、駐車場整備(パーク&ライド) 1億1500万円を計上
- ・幸田駅前再開発(駅前特別会計繰り出し)1億76万円
- ・中央公園用地買戻しに、1億8036万円(最終年)

新規事業

- ・子ども手当支給事業、9億110万円(¥13,000/1人=6・10月・・・)
- ・本光寺の文化財調査費用に、1780万円(1月6日=町文化財指定)
- ・高規格救急車の更新に、3050万円
- ・電動アシスト自転車普及事業に、420万円(8台レンタル) など。



文化財保護・・・深溝本光寺

=新年度、復活行事など=

- ・ジョギング、駅伝大会・・・500万円
- ・凧揚げまつり・・・180万円
- ・夏まつり・・・350万円
- ・中学生海外派遣・・・330万円
- ・国際化支援・・・160万円



=継続事業など=

- ・放課後子ども教室・・・1100万円
- ・子ども医療費無料・・・1億8600万円
- ・予防接種・・・1億3000万円
- ・妊婦・乳児無料検診(14回)・・・4580万円
- ・住宅太陽光補助・・・1200万円



2年連続の緊縮型予算・・・人命・財産にかかわる安全・安心問題を最優先

補正予算関係

平成21年度幸田町一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ13億3,025万2,000円を追加し、本年度予算の総額を145億8,447万9,000円とする予算案を、全員賛成で原案どおり可決しました。

その他特別会計補正予算

幸田町土地取得特別会計をはじめ7議案についても、全員賛成で原案どおり可決しました。

新規事業などに関する概要について

新年度予算関係議案質疑での主な発言

Q：新規の「電動アシスト自転車普及事業 420万円 皆増」どんな事業か？

A：国費200万円で8台をリースし、社会実験をする。町民や町内企業集団にレンタルし、安全面・メンテ面・盗難などをモニターする事業。

Q：皆減の「ISO推進事業 43万円減」環境対策は、万全か？ISO-14001の認証をやめた、いきさつと、独自の審査は、業務上でのP.D.C.Aサイクルへの影響や、内部監査で緩みが出る、ようなことはないか。

A：経費の軽減のため。ISO-14001をベースに役場内でやっていく。職員の意識と内部監査のレベルアップを推進する。



3月3日 一般質問 登壇・・・質問の概要



Q：本町も『事業仕分け』導入を！

・本町の財政状況は、企業収益や個人所得が低迷し、厳しい財政状況下、スリムで、町民に、わかりやすい、ひらかれた財政運営を問う。



Q1:新年度予算編成にあたり、限られた財源を踏まえて、「さらなる選択と集中」の進め方は。

A1:一定の社会基盤を整備しつつ、事業の切捨てでなく、ムダを省き、住民サービスを低下させない考え方。

Q2:今より、行政を透明にし、行政のガンバリを示すためにも、今が「事業仕分け」を導入をする、タイミングだ。「まずは、やってみる！」という、町長による強いリーダーシップで取り組みが求められる。本町においても「事業仕分け」の導入に取り組む、考えは。

【町長】A：「前向きに導入を検討する」

A2:「住民に、開かれたわかりやすい行政を進めながら、前向きに検討していく。」

Q2：自転車の交通安全対策を急げ！

・自転車の事故防止対策と通行環境の整備を質した。

Q:自転車の事故防止対策の、ソフト面、ハード面の、取り組み強化施策は。

A:小中学校でのマナー指導、高齢者交通安全教室などの開催と、移動しやすい交通戦略で環境を整備推進。



Q:全国の多くの自治体で、3人乗り自転車の貸し出しサービスが急拡大しているが、3人乗り自転車の貸し出しサービスの考えは。

A:H22年度には2台購入予定だが、道路環境が整っていない現状に、考慮し、貸し出しや購入補助金は考えていない。



PR

さこう弘康のホームページを見に来てください。「ご意見ご要望も受け付けています」

さこう弘康

検索

<http://www.hiro-sakou.com/index.html>